



# 卓 話

DRIVE」いわゆる4Dルールです。この4項目については言うまでもないと思いますので、ホストファミリーにとって必要なことを具体的にあげたいと思います。

「食事の時間、就寝時間、起床時間をどうするのか。門限はどうするのか。電話やパソコンの使用はどうか」等、いくつか問題点が考えられます。基本は各家庭のルールを徹底させることです。特に門限につきましては各家庭のルールがあると思います。その時間を守らせるようにしてください。委員会からのお願いと致しましては、他の留学生との兼ね合いもありますので、出来れば10時ということに統一していただきたいと考えます。パソコンの使用につきましても、時間を区切ることをお勧めいたします。あるホストファミリーでは、それぞれの項目について、その家庭のルールを紙に書いて留学生に渡した所もありました。いずれにしても難しい年頃の子供たちです。いけないことはいけないと自分の子供に接するように対処していただければと思います。

次に危機管理についてお話し致します。

虐待及びハラスメントに対する対応です。数年前の大阪大会のときに、セクハラを受けたとの報告がなされ、RIを相手取り訴訟がおこされました。それを機に当地区でも危機管理委員会が設置されております。セクハラ訴訟は被害者がどう感じるかにより、我々一般人の感覚ではただの冗談であってもセクハラに該当することになることもあります。ちょっと肩をたたくなど、我々が日頃行っていることも、国の習慣によってはセクハラに該当することにもなります。常にコミュニケーションをとり、誤解を招くような行動、言動は避けるようにするのが良いと思います。万が一セクハラ等の訴えがありましたら、すぐに学生を保護してください。そして地区委員会にご相談いただければと思います。

最後にジュニアカウンセラーにつきましてお話し致します。

ジュニアカウンセラーをお願いしておりますROTEXは当地区から青少年交換留学生として派遣されて帰国した元留学生です。当地区の場合、様々な国から来日しますので、言語がまちまちです。そこでそれ

## 「青少年交換留学生について」

第2580地区青少年交換委員会

委員長 池田 利一氏

青少年交換プログラムは国際ロータリーが公式に定めたプログラムであり、15歳～19歳までの青少年に母国以外の国を訪問したり、留学したりする機会を与えるプログラムです。このプログラムは80年余りの歴史を有し、数あるプログラムの中でも、最も人気が高く、意義のあるプログラムとRIは表現しております。第2580地区においても40年以上にわたり、これまでに500人を超える生徒を海外に派遣し、また同数の海外からの留学生を受け入れてまいりました。



最初に当地区の青少年交換プログラムの現状をご報告致します。

今夏に海外に旅立った派遣生は13名、つまり13カ国に生徒を派遣しております。また、海外からの留学生は12名を受け入れております。地域別に見ますとヨーロッパが6名、アジアが2名、アメリカ及び中南米が4名となっております。

ホストクラブにつきましては、輪番制のもと概ね4年から5年に一度、各クラブがホストクラブをしている状況です。四谷クラブさんも今回その中の一人、アメリカからの留学生を預かっていただいております。現在留学生は8月10日から御殿場のYMCA東山荘で日本語研修の真最中です。不安に駆られての来日後、すぐに山の中に缶詰になっております。同じ立場の留学生とともに研修することにより、少しでも早く日本に慣れてもらえればと思っております。KEIも先日、向山さん、鯉江さん、太田さんに御殿場東山荘にお連れいただきました。すぐに周りの留学生とも馴染み、元気に日本語研修に励んでおります。

次に青少年交換学生が守らなければならないルールについてお話し致します。

ロータリー青少年交換では大きく4つのルールがあります。「NO DATE」「NO DRINK」「NO DRUG」「NO

ぞれの国に派遣されたROTEXに通訳を兼ねて対応をお願いしております。留学生にとっても同世代の人が身近にいてくれることにより、何かと相談ができ、安心

につながるようです。これは当地区ならではの制度と  
です。

本日は貴重なお時間をいただき有難うございました。